

# お札になった偉人たち

新紙幣が2024年に発行されるというニュースが発表されました。

埼玉県出身の渋沢栄一も選ばれ、注目されています。

お札の肖像画になった人々は、どのような人生を送ったのか。

また、その人々が残した著書を紹介します。

## 現紙幣の偉人たち

●愛の一字 父親福沢諭吉を読む 桑原三郎／著 築地書館 1998年

●源氏物語の教え もし紫式部があなたの家庭教師だったら 大塚ひかり／著 筑摩書房 2018年

『源氏物語』の面白さは、どんな時代にも通用する、生きるための実用性が書かれているからだと言います。物語に込められた知恵や女性が幸せになる方法を紹介します。

●人間福澤諭吉 松永安左衛門／著 実業之日本社 2008年

●野口英世 波乱の生涯 志を得ざれば再び此地を踏まず  
星亮一／著 三修社 2008年

●野口英世は眠らない 山本厚子／著 総合社 2004年

ラテンアメリカで10年間にわたって黄熱病の研究のために駆け回った、野口英世の活躍はどのようなものだったか。現地の人々はどのように彼を受け入れたのか。著者の野口英世を訪ねる長い旅が始まったのです。

●パリの福澤諭吉 山口昌子／著 中央公論新社 2016年

●樋口一葉に聞く 井上ひさし／編・著 こまつ座／編・著  
ネスコ 1995年

●ひとひらの舟 樋口一葉の生涯 三枝和子／著 人文書院 1992年

●福沢諭吉と福翁自伝 鹿野政直／編著 朝日新聞社 1998年

●福沢諭吉のすゝめ 大嶋仁／著 新潮社 1998年

●私語り樋口一葉 西川祐子／著 リプロポート 1992年

## ちょっと前の紙幣の偉人たち

- 伊藤博文 伊藤 之雄／著 講談社 2009年
- 英語教師夏目漱石 川島幸希／著 新潮社 2000年
- 聖徳太子の歴史学 新川登亀男／著 講談社 2007年
- 信仰の王権聖徳太子 武田佐知子／著 中央公論社 1993年
- 漱石のことば 姜尚中／著 集英社 2016年
- 漱石の地図帳 中島国彦／著 大修館書店 2018年
- 〈太平洋の橋〉としての新渡戸稲造 太田雄三／[著] みすず書房 1986年
- 新渡戸稲造 1862-1933 草原克豪／著 藤原書店 2012年

## 新紙幣の偉人たち

- 蚕にみる明治維新 渋沢栄一と養蚕教師 鈴木芳行／著  
吉川弘文館 2011年
- 北里柴三郎 熱と誠があれば 福田真人／著 ミネルヴァ書房 2008年
- 埼玉の先人 渋沢栄一 荻塚一三郎／著 金子吉衛／著  
きたま出版会 1983年
- 渋沢栄一男の選択 童門冬二／著 経済界 1995年
- 闘う医魂小説・北里柴三郎 篠田達明／著 文芸春秋 1994年

- 津田梅子 古木宜志子／著 清水書院 2016年

岩倉使節団とともに渡米した津田梅子は、出発当時まだ6歳でした。ワシントン郊外に住むランマン夫妻に10年以上もの間育てられ、高い教養を得て帰国しましたが、当時の日本では彼女が活躍できる体制は整っていませんでした。

新たに発見された資料を基に、津田梅子の生涯を紐解きます。

- 津田梅子 山崎孝子／著 吉川弘文館 1988年
- 津田梅子 大庭みな子／著 朝日新聞社 1990年
- めざせ日本の近代化 埼玉県立博物館／編集 埼玉県立博物館 2002年

○ ○ ＊ ○ ○ ○ ＊ ○ ○ ○ ＊ ○ ○ ○ ＊ ○ ○ ○